

周作クラブ会報

(第80号)
2020年8月25日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

続報 遠藤周作 未発表小説	1面
長崎文学館便り	2～3面
お知らせ欄	4面

続報 遠藤周作・未発表小説

遠藤周作文学館で原稿104枚の公開はじまる 長崎市長が会見で発表

長崎市長の語った遠藤文学観

前号で紹介した遠藤周作の未発表原稿「影に対して」が、長崎市遠藤周作文学館で7月1日から公開されている。これに先立ち、長崎市では6月26日(金)午後1時から、田上富久市長がみずから定例記者会見で、

「遠藤先生が『心の故郷』と呼んで愛した長崎に遠藤周作文学館が建って20年、その記念すべき年に、このような未発表小説が発見されたことを、全国の遠藤文学のファンの皆様とともに喜び、その喜びをここ長崎で共有したい」と語った。市長は、学生時代からの遠藤文学ファンだという。



未発表小説について記者会見をする田上富久・長崎市長(長崎市ホームページより)

今回発見された小説「影に対して」を

市長はすでに読み了えていて、これを「遠藤文学の根底にある、母をめぐる原体験が描かれた小説」とし、「遠藤先生が母親からどのような影響を受けたのか、また、遠藤先生の人生観などをうかがい知ることができるといふ点で、重要な意味を持つ作品」と評した。

この小説で主人公が見据えるのは、夫と離婚し、音楽家として大成することなく死んだ母の“人生”である。その“人生”はたとえば、真冬の極寒のなかでもヴァイオリンの稽古をやめず、指先に血をにじませる光景や、その稽古中に話しかけてくる息子を叱り、接触を拒絶する厳しい姿勢にある。

「影に対して」は、遠藤文学のなかでは短篇「六日間の旅行」「船を見に行こう」などにみられる、中国・大連での体験をもとにした「父母の離別」を描く作品だが、今回はその母の“人生”が、実利の世界に生きる父親の“生活”重視の生き方と比較される。

遠藤文学の一つのテーマでもある“生

活と人生”という価値観について、市長は記者からの質問にこう答えた。「どうしても日々の生活の中では、人生の部分ではなく、生活のほうに引きずられていったりする、そのペースの中で日常を過ごすということがあります。だからこそ、人生について考えるということをし、時おり立ちどまったり、あるいは振り返ったりしながら、意識的に考えていくということは、すごく大事なことで改めて感じました」

さらに市長は、長崎市遠藤文学館に「アンシャンテ」という思索空間があることにふれ、「どうぞそこへいらして自分の内側と向き合う時間を持っていただきたい。そして遠藤文学のテーマである永遠性や“生活”とは違う“人生”について考えていだだきたい。そこにも、このコロナの時期に小説原稿が発見されたということの意味があるのでは……」と結んだ。

「影に対して」の反響など

この未発表小説は、既報のように、遠藤周作と縁の深かった雑誌「三田文学」(夏季号・7月10日発行)に掲載された。すでに原稿発見のニュースは、新聞各紙やインターネットでも大きく扱われていたため、発売前から書店や編集部に注文が殺到し、発行日には在庫がほとんど残っていない状態となった。そこで「三田文学」では急遽、五千部を超える増刷を決定したが、編集部によると、遠藤周作没後に発見された『深い河』創作ノート」掲載の号もやはり、「三田文学」史上数少ない増刷の例だったという。

なお、「影に対して」は、この秋に新潮社から出版が予定されている(刊行予定は10月)。(記/加藤宗哉)

新型コロナウイルス感染症の拡大で、今年度の周作クラブ行事も、中止や変更を余儀なくされました。残念なことです。ご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

■第23回「周作忌」(9月29日、於・如水会館)は中止となりました。

※来年は、いつも通り9月29日(遠藤周作命日)に行ないますので、ぜひともお出かけください。

■順延されていた第21回遠藤文学原点の旅「ユリアとよぶ女」『怪奇小説』の舞台——駿府・網代・熱海をバスで巡る(10月18日)は、最終的に中止と決まりました。また来年の「原点の旅」の実施時期・訪問先は未定です。

■周作クラブ発足20年目となる今号は、残念ながらご連絡のみの4ページとなりました。そこで、次号(81号)を「創立20年記念号」としてお届けする予定です。

■今年度の「周作クラブ第20回総会」について

人との接触機会軽減の観点から、今年度は可能な限り少人数での「総会開催」を目指しています。そこで会員の皆さまには「委任状による総会参加」を是非お願いしたいと思っています。同封のハガキにご署名・捺印のうえ、期日までにご返送くださいれば幸いです。なお、今年の総会開催は以下の通りです。

▽9月26日(出) 15時30分から16時30分まで マイス・ペース・銀座マロニエ通り店(東京都中央区銀座3の9の4 銀座草野ビル4階) 03・6264・1259)